



絵本からひろがる世界

—地域の絵本環境が与えてくれること—

全ての人々へ読む**喜び**の**機会**を届ける

NPO 法人絵本カーニバル（東京都）



子どもたちに、絵本を通じて、日常の出来事や、わくわくする気持ちなど、さまざまな体験をしてもらえるよう多様な絵本を選書し、いつも過ごしている空間を絵本で彩り、好奇心を育む機会を届けています。

絵本カーニバルの活動拠点の一つである小児病棟では、入院生活をおくる子どもたちの大切な日常との架け橋となっています。全国の病院に絵本の世界を届けることで、療養生活を送る子どもたちのQOLの向上を目指しています。



絵本環境を届けるだけではなく、楽しい活動もお届けしています。



色鮮やかな展示棚やイスで、ぬくもりのある空間を表現し、表紙が見えるように絵本を展示しています。



絵本は人が読む喜びをはじめて知る大切なものです。

読むことによってさまざまな世界を味わうことができ、子どもから大人まであらゆる世代が読む喜びに触れ、人と人をつなぐきっかけになっています。

NPO 法人絵本カーニバルの活動は、たくさんの絵本とともに世代を越えてつながることのできる場所づくりを提供しています。

それは、地域における子どもの居場所づくりとなるだけでなく、どのような環境における人々にも読む喜びを届ける活動となっています。

協働して未来への展望を見出す

とかち鹿追ジオパーク推進協議会（北海道） × NPO 法人絵本カーニバル（東京都）



会場では、絵本作りのコーナーも。気が付くと、自然の現象について描いている子どもたち。



人口約5000人の鹿追町。この町は、とちろ鹿追ジオパークとして日本ジオパークの認定を受け、官民連携で自然環境を教育や観光に生かす活動をしています。その活動の一環として2024年3月にNPO法人絵本カーニバルと協働で「ジオ絵本カーニバル in とちろ鹿追ジオパーク」を開催しました。地域住民に対して、日頃のジオパークの活動と関連する400冊の絵本を親しむことができる環境を提供しました。絵本を通して、地域がつながるだけではなく、身近にある豊かな自然と生物の大切さを感じていきます。溢れ出る会話や対話では、楽しい、面白いと感じるだけではなく、知らなかったという発見の声。それは、世の中にある神秘への感嘆です。そのような絵本によって生み出される一つ一つの思いや考えが地域・社会・地球の未来を見つめることにつながっていきます。一人ひとりの心の中には、自分たちが生きる未来社会への展望が含まれていく瞬間なのかもしれません。



たくさんの絵本から数冊を選び出し、みんなで読み始める地域の人々。